SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月28日

事業者名: 坪井自動車鈑金 有限会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績		指標·目標	
	SDG s 立ち上げメーカーの1つ「BSAF」より水性塗料をドイツから導入し使用率100%を達成、人体及び地球環境に優しい塗料を使用 部品を修理し再使用率を推進し、リサイクル部品の活用にも力を入れてます電気使用率見える化し、更に外部にて管理、C02フリー電気を購入。定期的な面談もし効率的な電気消費に取り組んでいます有害なエアコンガスは回収し、大気開放はしません、更に再利用しています切削粉塵が工場外に飛散しない取り組み		⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的	2018年有機溶剤塗料使用工場から、現在は地球環境、人体に配慮した水性塗料100%に切り替え済み。 おおりサイクル率は年5%ずつ増え続けています、新品交換率も比例して減れております。	指標 	塗料水性100%維持、使用済み塗料削減 -3% 部品交換率-3% リサイクル率3%引き上 電気使用率-2% エアコンガス回収率100%、リサイクル率100% 集塵等の定期メンテナンス粉塵削減 -1%	
環境				電気使用率見える化取り組みを始め、2018年より段階的に使用率減少、約10%減っております エアコンガス機械導入は、2016年そこからは00%の回収率です 工場にエアーカーテン設置、床の集塵グレーチング化、集塵機の充実		【指標】記入した各項目を、202 3~2024年は段階的に取り組み、 2025年に達成 予定	
	子どもから大人まで、いくつになっても健康で安心して生活できるように福祉を推進しています。又、障害をお持ちの方へ対しても、個別におくるまの改造をご提供、輸入車、国産車問わず、自立支援の手助けをさせて頂いております。だれも置き去りにしない」社会の実現のため、年齢や性別、障がいの有無などによる不平等を無くし、多様な人が活躍できるようサポートしています。小学生、中学生、高校生を受け入れています福祉施設への、季節お祭りへのお手伝い参加、イベント提供、車イス清掃		③すべての人に健康と福	福祉車両改造のお問合せ、改造は年々10% ずつ増 R4 小学生は30名、一クラス 福祉車両体験 R5 中学生2名 福祉車両体験 R5 高校生インターンシップ 2名 福祉車両勉 強、自動車分解等 介護施設様が毎年催されている、各季節イベ ント参加コロナ前は年4~5回は参加 サンメッセ総研「Re:touch」参加、取材、掲 載	15.122	小学生、受け入れる7名に増やす 中学生3名受け入れたい 高校生3名に増やす 介護施設、訪問イベント参加数を1つ増やす 冬メディアに毎3回は投げ込み、掲載を一件増やす	
社会						今年ホームページを一新+今年中SEO対策を外注化し取り組む、認知を増やす 今年から小中高は例年以上に一ヶ所以上呼びかけをする各介護施設に、例年以上1か所以上呼び掛ける各外護施設に、例年以上1か所以上呼び掛ける各メディアに年3回は投び込み等。こちらから周知していく2023~2024年は段階的に取り組み、2025年に達成予定賃金3%UP	
	賃金UP 売上UPに繋がるように 下請け率を下げ 公正な取引を実施 資格取得 毎年研修で取得させている DX 工程管理及びリサイクル部品注文管理もFAXは廃止、デジタル化して 製品・サービスの安全性と品質とサプライチェーン管理、値段に惑わされる等勝手な部品材料出来ないように購入業者は発注の時点で、社長及び複数名でデジタル管理している。 又SDGsに求められる要件は定期面談で共有している プラスチック溶接機で交換部品修理 新品使用率減、産業廃棄物も減 微量に出る有機溶剤をリサイクル機で二次使用 文房具屋と連携 塗装後の残カラーを万年筆に入れて、再利用		⑧働きがいも経済成長も ,⑰パートナーシップで 目標を達成しよう,⑪住 み続けられるまちづくり を	毎年 賃金を段階的にUP 売り上げは毎年10%づつUP 資格取得は毎年取得、毎年2~3名2~3資格を取得 門下請け率(元90%)あったディーラーと決別下請け率60%、個人客40%増 DXは工程管理、材料管理、部品発注管理、の3つ管理をしている外部業者とは定期的な意見交換で共有しているプラスチック製品の再使用率は部品全体の5%UP、有規溶剤の廃液カスをリサイクルし月4個に減廃液ペン制作月10本	指標	売上 I U%0V 資格取得は3名 下請け率は2%減らす DX管理(リサイクル部品管理)を1つ増やす 再利用率3%UP 有機溶剤の廃液カスは3.8個に減	
経済					目標	2023〜2024年は段階的に取り組み 、2025年に達成 予定	
	チェック						
	Ø	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>					
ガバナンス	月一回の定例会議での共有 SNSでの発信(制作を社長とスタッフー緒に作成、SNSに投稿、各スタッフも閲覧) 毎朝ある朝礼での意識共有 部外者による説明会、セミナー実施 社内掲示物、幟旗、事務職(社長、フロント)ピンバッチ装着 専門家等から勉強し、それらを共有、実践、定例会議等で結果等話し合い、次のアクションに移している						
	>	SDGsの達成に向けた重点的な取組の 坪井鈑金HP内 https://tsuboban.jp/sdg%ef%bd%93/					
		サンメッセ総研「Re:touch」掲載 https://www.retouch-sdgs.jp/interview/10.html	l				